



SECTION59  
TOKYO

JCD 連続デザインシンポジウム

# 「ファッションと空間」

[入場無料]

トークイベント  
ファッションデザイナー

## 皆川 明氏

minä perhonen ショップ内装：上左より call / 代官山店 中左より金沢店 / 代官山店 下左より call / 金沢店  
(Photo : Masahiro.Sanbe Manami.Takahashi Kazuhiro.Shiraishi)



トークイベント

## 「ファッションと空間」

[入場無料]

JCDが継続して開催しているシンポジウム“SECTION”は今回で59回目を迎えます。今回は、ファッションデザイナー、ミナベルホネンの皆川明さんにご登壇頂きます。皆川さんは、若き時に自身のブランドを立ち上げました。テキスタイルデザインから始める洋服づくりは、オリジナリティに溢れ流行に流されない、唯一無二のブランドとして支持を集め、皆川さんのデザインは、日本はもちろん、世界に広がっています。ミナベルホネンのショップデザインにも、自身の感性を溢れさせ、それは、私たち空間系デザイナーが舌を巻くほどのレベルです。さらに店舗デザインのコンセプトは全て異なっており、それぞれの店舗までもが、洋服の世界観とシンクロしながら唯一無二の空間になっています。近年では、インテリアファブリックや家具、プロダクトなどのデザインもされています。洋服づくりが注目される皆川さんですが、デザインについて、空間づくりやコンセプトのアプローチなどトータルにお話を伺い、皆川さんの一貫したものづくりの真髄に触れたいと思います。私たちが忘れかけている「ものづくりの原点」に触れることができるに違いありません。

スピーカー

## 皆川 明氏

皆川 明(みながわ あきら)  
ファッションデザイナー ミナベルホネン代表

1967年東京生まれ。1995年に自身のファッションブランド「minä (2003年より minä perhonen)」を設立。時の経過により色あせることのないデザインを目指し、想像を込めたオリジナルデザインの生地による服作りを進めながら、インテリアファブリックや家具、陶磁器など暮らしに寄り添うデザインへと活動を広げている。また、デンマーク Kvadrat、スウェーデン KLIPPAN などのテキスタイルブランド、さらには陶磁器ブランド Richard Ginori へのデザイン提供や、東京スカイツリーをはじめとするユニフォームデザイン、新聞小説の挿画なども手掛ける。2006年「毎日ファッション大賞」大賞、「2015 毎日デザイン賞」、「平成 28 年度(第 66 回)芸術選奨」美術部門文部科学大臣新人賞を受賞。



Photo : takashi okano

2017年  
10月24日(火)

18:00開場

[講演会] 18:30~

[懇親会] 20:30~

会場：東京デザインセンター B2F ガレリアホール  
東京都品川区東五反田5-25-19

[入場無料] 定員 200名 定員になり次第、締切りとなります。



お申し込みはこちらから

主催

JCD 一般社団法人 日本商環境デザイン協会

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-1-6 外神田会館 101  
TEL 03-5207-6707 FAX 03-5207-6708 <http://www.jcd.or.jp/>

協力

東京デザインセンター

後援  
(50音順)

公益社団法人インテリア産業協会、株式会社建築資料研究社、公益社団法人商業施設技術団体連合会、株式会社商店建築社、公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会、公益社団法人日本インテリアデザイナー協会、一般社団法人日本インテリアプランナー協会、一般社団法人日本空間デザイン協会、公益社団法人日本サインデザイン協会、一般社団法人日本商業施設士会、一般社団法人日本ディスプレイ業団体連合会、株式会社六耀社

協賛  
(50音順)

未定